

OK ON GOLFが川崎春花プロと スポンサー契約

シミュレーションゴルフ初体験で何を思う!?

1 コースのまんま!

コースのまんまです! プレーしたのは川奈GC富士コースですが、実際のコースをプレーした時と同じロケーション、同じアングルなど、ホールの見え方、グリーン形状など再現性が高く、いま川奈を室内でプレーできているイメージです。それに画面が、斜面やラフなど、その時々状況に合わせて変わり、普段のリアルなゴルフ場でプレーや練習よりも圧倒的に楽しいですね。

2 方角関係なく 眩しくない!

室内なので、天候に左右されず、ゴルフができて、冬の時期は寒さも感じません。そこは当たり前なと思うのですが、ゴルフ場は早朝だと方角によって朝日が眩しく、練習が億劫になってしまうことがあるんです。シミュレーターだと、それが全くないので、天候や朝日などのストレスがなく、練習できる点が大きな利点だと思います。

3 行ったことのない海外の コースでプレーした気になる!

高いレベルでコースが再現されており、プレーしたことのない海外のコースもプレーできる。まるで海外でプレーした気持ちにさせてくれますね。

5 試合前のイメトレに シミュレーションゴルフ

今回、川奈をプレーさせてもらいましたが、ツアー会場となるトーナメントコースが多数収録されています。その意味で、トーナメント前に、何度も18Hをプレーすることでイメージトレーニングができます。それで試合に臨めば、成績にも繋がります。シミュレーションゴルフでも風も吹いているし、川奈のグリーンは芝目があって、傾斜と芝目によるリアルなスピードが出ている。このシミュレーションゴルフでグリーンを攻略できるようになったら、試合が楽しみになりそうです。

川奈もそうですが、難しいゴルフ場ほど真剣にシミュレーションゴルフで練習してから行ってください。そうしないと、絶対痛い目を見ちゃいますよ!

4 ミスはミスとして 再現

川奈の名物ホールのパー5は、見た目ではティーショットにストレスがあるんですね。実際のラウンドでは、左の海沿いを嫌がりながらティーショットして、左に行きがち、それが、シミュレーションゴルフでも同じように左に行っちゃいました。リアルなコースと同じミスが出ちゃいましたね。ちょっとミスったなどと思ったら、シミュレーションでもリアルにそのまますも再現される。メッチャ嫌ですね(笑) そういう意味では、自分の感覚がそのまま画面に再現されるので、シミュレーションでもプレーしているとリアルで面白いんです。

お問い合わせ: ディオントキーヨー <https://okongolf.jp/>



シミュレーションゴルフ「OK ON GOLF」を展開するディオントキーヨーは2月1日、プロゴルファー・川崎春花とスポンサー契約を結んだ。2022年にプロとしてデビューし、同年国内メジャーを含め4勝。プラチナ世代の筆頭株だ。その川崎春花がシミュレーションゴルフを初体験。そのコメントが示唆に富んでいる。

難関コースはシミュレーターで予習。
じゃないと、痛い目を見ますよ! -

「オートマチックチェンジャー」の登場で更なる進化

売れ筋のTYPE-Dはスゴイ 全機種オプションに オートマチックチェンジャー登場

「OK ON GOLF」では、スペシャルバージョンで超高速カメラ搭載の最高峰モデル「TYPE-S」、ドライビングレンジバージョンとなる練習に特化した最新型高機能の「TYPE-D」、そしてゴルフバーやアミューズメント施設に最適なラウンドバージョンの「TYPE-R」を展開している。

インドア施設が急増中のいま、売れ筋は「TYPE-D」。その特徴を紹介する。

■2台のハイスピードカメラでボールスピニングを実測。練習機能も充実。

■充実した10種類にも及ぶオリジナルの練習メニューを搭載。

■ショットデータ分析、スイングパス機能のほか、「TYPE-D」のみ標準装備のスイング分析システムは、打席正面と後方のカメラでスイング映像の比較、アプリを使ったスマホ保存も可能。

■専用ボールを使用することで精度の高いスピニング計測が可能。スピニングのほか、分析項目はボール初速やヘッドスピー

ド、打ち出し角など15以上。データに基づいた練習を実現。などなど、枚挙にいとまがない。その「OK ON GOLF」全機種オプションとして登場したのが「オートマチックチェンジャー」だ。

ゴルフは地面にあるボールを打つ。その地面はフェアウェイ、ラフ、バンカーなど様々。これまでのシミュレーターでは、その芝などの接触を感じることは難しい場合もあった。それが「オートマチックチェンジャー」で可能になるのだ。

「オートマチックチェンジャー」は、ボールが止まった場所がフェアウェイからラフか、バンカーかによって、マットの一部が自動で回転して、その状況を生み出す。プレーヤーは回転して出てきたマットにボールを置いて、プレーを再開することになる。よりリアルなフィードバックで練習やラウンドができるのだ。

「TYPE-D」はオプションでラウンドモードを追加できるが、その収録コースは200を超えた。それも「OK ON GOLF」が選ばれた理由のひとつだ。

